

# I 平成 25 年度 蒲郡市青少年健全育成推進事業

蒲郡市は、昭和 41 年 5 月に「青少年を守る都市宣言」を行って以来、家庭・学校・地域社会が一体となって、青少年健全育成市民運動を展開してきた。昭和 56・57 年度に当時の文部省および愛知県から小中学校生徒指導研究推進地域指定を受けたことから、各中学校区に青少年健全育成協議会を立ち上げ、学校主導で P T A を中心に非行防止の話し合いをする「ミニ集会」が誕生した。その輪は徐々に、地域主導、地域住民対象へと広がり、内容も健やかな子どもを育てるための多様な方法を試みる場として変化していった。

昭和から平成へ移るころには、子どもたちの社会体験・経験不足が叫ばれるようになり、ミニ集会は話し合い活動から清掃活動などの実践活動へと移行していった。平成 7 年ごろからは、「地域ふれあい活動」として、地域の実態を勘案し、様々な内容で行われるようになった。子どもたちの参加は増加したが、より参加意欲を高めるために企画の段階から中学生を取り込む地区が増えてきている。地域で活躍する中学生の姿を見て、小学生は次代の自分を思い描くとともに、地域の大人たちは子どもたちを見直す機会ともなっている。

このように蒲郡市の「地域ふれあい活動」は、時代とともに内容を少しずつ変え、現在に至っている。毎年行われる「地域ふれあい活動」が、多くの参加者と充実した活動がなされるようそれぞれの地区で工夫されている。この活動を通して、地域の絆が一層強まっていくことが期待される。

## 1 今の子ども・若者たちをめぐる問題

携帯電話やスマートフォンをはじめとする情報機器の発達は、利便性は高めたものの、子ども・若者が人とのコミュニケーション能力の低下をもたらし、円満な人間関係の樹立に影響を投げかけている。また、毎日長時間のインターネット利用によって「ネット依存」に陥り、身近な同年代や家族との会話を極端に減らしている若者もいるという。本年度、市内の小中学生を対象に携帯電話やスマートフォンの所持、利用についての実態を把握するため、アンケート調査を行った。（※本冊資料編に調査結果を掲載） その結果、市内の小中学生の所持率は、全国平均と比べて大きな差異はなかった。市内においても、「ネット依存」や子ども同士のネット上のトラブルなどの発生が危惧される。

## 2 子ども・若者を地域に

こうした状況にあって、人とのコミュニケーションを図ることの大切さが言われ、学校においてもその指導が重視されている。これは地域においても大切にされるべきことで、あいさつをはじめ、近隣の人とのちょっとした会話が子どもたちに地域での存在感をもたせることができる。さらに、地域の人々と活動を共にすることは、名前を覚えてもらったり、励ましの言葉を受けたりする機会を増やし、自己有用感や連帯感を実感できる子ども・若者が増えていくことを期待できる。これは、子ども・若者の孤立化を防ぐことにもつながっていく。こうしたことから「地域ふれあい活動」は大変有意義な活動である。

## Ⅱ 青少年健全育成協議会・地域ふれあい活動一覧

### 1 健全育成協議会・準備運営委員会等

地 区	実 施 月 日	場 所	参加者数
1 大塚	4月19日(金)	大塚公民館	20
	5月16日(木)	大塚公民館	65
	2月13日(木)	大塚公民館	21
2 三谷	5月18日(土)	三谷公民館	48
	6月2日(日)	三谷中学校	133
3 蒲郡	4月17日(水)	蒲郡中学校	25
	6月5日(水)	蒲郡中学校	101
4 中部	5月13日(月)	中部中学校	61
	11月25日(月)	中部中学校	35
5 塩津	5月11日(土)	塩津中学校	95
	10月18日(金)	塩津小学校	83
6 形原	4月20日(土)	形原中学校	23
	5月19日(日)	形原中学校	151
	1月18日(土)	形原中学校	60
7 西浦	4月23日(火)	西浦中学校	30
	5月23日(水)	西浦公民館	60

### 2 地域ふれあい活動(ミニ集会・ミニ活動)

地 区	会場数	参加延べ人数	開催期間
1 大塚	4	2,350	6月8日～8月18日
2 三谷	6	1,480	8月11日～11月17日
3 蒲郡	7	4,550	6月2日～10月27日
4 中部	5	1,220	5月25日～10月27日
5 塩津	9	970	5月12日～9月29日
6 形原	11	2,071	6月16日～8月25日
7 西浦	1	232	8月25日
計	43	12,873	